

## 資料1

### 特定非営利活動法人ほっぷの森 平成30年度 事業報告（総括）

前年度行った就業規則の全面的な改正とそれに伴う職員の待遇改善を元にこれからの中長期的な新しいスタートを切ることができました。

今後はまず第一にフードマーケットの施設整備を最優先に取り組んでいきたいと考えています。新しい拠点で新しい環境を創り、スタッフ、パートナーとともに自由で活動的な状況を準備できればと思います。

またほっぷも志ら梅ビルに入居して7年を経過し、契約条件の更新を求められています。そしてびすた～りも10年をすぎて現在の借家を継続できるかが大きな課題となってきています。

どの拠点においても、最も重要な施設整備の観点からスタッフそしてパートナーにとって働きやすい環境の維持・向上と待遇改善は常に喫緊の課題です。

優秀な人材の維持・獲得こそ法人発展の基礎となるものだと思います。

一方で外に目を向けた時に、どんまいネットみやぎの法人化と相談支援ならびに移行支援事業所のネットワークの整備と充実は当法人の基盤整備や向上につながるものと確信しています。

さらに仙台市での連携法人であるアート・インクルージョンや富谷市の「ふうどばんく東北あがいん」との連携をさらに強め、様々な障害のある方が様々な困難を少しずつ乗り越えて社会的な自立を目指せるよう協力していきたいと考えています。

今後とも暖かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ほっぷの森  
理事長 白木 福次郎

利用者の推移（カッコ内は、平成 29 年度状況） \*別紙「年間実施事業報告」参照

平成 30 年度の月利用者数は 13 名から 22 名で推移(20~25 名)。月平均利用者数は約 18.1 名(約 22 名)。出席率は月 76.2%~85.2%(78.2%~90.4%)。平均 79.1%(84.9%)。

新規利用者 12 名(20 名)。うち高次脳機能障害 10 名(17 名)。若年性認知症 1 名、精神疾患 1 名。

紹介元は、病院や関係機関からが主。相談支援事業所からは 1 名のみ。また、仙台市外の 3 名は相談支援事業所の計画相談が入っているが、仙台市内の方は、どんまいネット相談支援センターが入った 2 名以外の 7 名はセルフプランとなっている。

平成 31 年 3 月~4 月にかけて、直 B に伴う、就労アセスメント対象者を 1 名受け入れた。

平成 30 年度は 14 名(19 名)が利用終了。内訳は、一般企業への就労は 5 名(8 名)、復職 5 名(2 名)。就労に繋がらなかった方 4 名(6 名)のうち、2 名は利用の満了で就職活動を継続、2 名は利用の中止。

一般企業への就労者 5 名のうち 1 名を除く 4 名が見学と実習を経ての採用。

平成 30 年度は利用者数や出席率は昨年度より下がった。精神疾患や若年性認知症の方の問い合わせや見学は増えてきているが、体験まで至らなかった。高次脳機能障害の方の中には就労のトレーニングまではまだ時間がかかりそうな方もいらっしゃり、他機関の情報提供を行ったりした。終了・利用開始共にタイミングがあるため、安定した利用者数は難しいが、これまであまり繋がってこなかった病院からの問い合わせや休職中の相談等も増えてきている。

医療機関とは、ケース会議の開催や診察同席にてより連携した支援のつながりを実施した。

プログラムの取り組み状況 \*別紙、回覧「各プログラム事業報告書」参照

麻痺のある方や失語症の方等、様々な症状の方がトレーニングとしての目標を意識しながら行えるよう、各プログラムの担当パートナーの計画の下実施。全体やグループで行う内容が大半ではあるが、個々の状況によっては、個別でのプログラムへの取り組みの充実をはかった。

個々の取り組みに関しては、パソコン利用表の掲示やセルフトレーニングでの実施内容のマグネット表示等、見て確認できるようにし、できるだけ自身で取り組めるよう工夫を行った。

平成 31 年 2 月より、作業療法士の視点からのワークとして、『作業と身体』のプログラムを開始。また、個々のニーズに応じながら、作業療法士ボランティアの方の協力のもとトータルパッケージの活用の充実を図った。結果を仕事にどのように結び付けられると良さそうか、実施後のフィードバックのしかたが今後の検討事項と思われる。

外部講師の方によるプログラムとして、新たに沖縄空手と純碁を実施。文章理解、コミュニケーションⅡ、リズム体操、模擬面接練習、栄養管理講座、パソコン講習等は、継続して実施。それぞれ普段できないことや必要となることから、有意義に取り組むことができた。

## 就労に向けての活動状況 \*別紙「年間実施事業報告」及び回覧「各プログラム事業報告書」参照

『就職に向けて』のプログラムを中心に、ハローワーク活動や企業見学、企業実習、面接等の活動報告を実施。報告を聞くことで、イメージを持つことができたり、就職活動への意欲を高めるきっかけとなつた。また、月に1回、前月の取り組みの成果と月の目標を発表してもらうことで、就労に必要なことを具体的に意識して取り組めるようにした。

具体的な活動への段取りが難しい方へは個別に関わり、活動はするものの職種検討が難しかったりする方には、体験実習の提示や宮城障害者職業センターの職業評価相談の実施をすることで、参考とすることが出来た。

求人票からの企業見学や実習は働くイメージと自信となり、実際の就労(雇用)に繋がった。

## 利用終了のフォローアップ

- 平成30年度就労者10名中、一般就労した2名の方が離職。1名にはジョブコーチ支援として関わるも、体力面からの課題で継続とならなかつた。他8名は就労継続。1名はジョブコーチ支援を実施。他は定期的な訪問や電話での状況確認、ご本人との面談や先輩会でのフォローを実施。
- 平成30年10月より、就労定着支援事業『就労定着支援センターほっぷの実』を開始。先輩会や就労時にご本人に事業の説明を行つた。
- 年4回の先輩会の実施：参加者合計114名。
- 先輩会の時以外でも、仕事の帰りやお休みの日にほっぷに来所して下さる。気軽に連絡や相談のできる関係を今後も作っていきたい。

## 実績と成果

- ・インターンシップ、ボランティア、研修や見学の受け入れを積極的に実施。参加していただくことで、就労への取り組みや高次脳機能障害への理解の機会となつた。 \*別紙「年間実施事業報告」参照
- ・会議への参加：仙台市障害者就労支援センター主催の就労移行支援事業所等連絡会議、ウエルポート仙台主催の高次脳機能障害支援者ステップアップ研修、宮城就業支援ネットワーク主催の職場定着セミナー、宮城県主催の雇用促進フォーラム、仙台市主催の雇用促進セミナー、東北医科薬科大学病院主催の高次脳機能障害研修会、医療関係機関主催の講習会、企業主催の見学会、その他各区で実施している障害者自立支援協議会等、できる限り参加し、職員のスキルアップや他機関との連携の強化をはかつた。

報告者：就労支援センターほっぷ

サービス管理責任者 平山昭江

平成30年度 就労支援センターほつぶ 年間実施事業報告

資料 2-2

	平成30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成31年1月	2月	3月
利用終了者状況 →終了後 (14名)		一般就労(1名) ・山崎製パン㈱5/21		復職(1名) ・ユアテック宮城支社7/12 利用満了(1名) ・就職活動	一般就労(2名) ・第一貨物㈱9/1 ・仙台オーブン病院9/1 復職(1名) ・仙台市役所8/15 利用中止(1名) ・他移行支援事業所利用	一般就労(1名) ・東北第一興商 (株)9/20 復職(1名) ・宮城労働局10/1	利用満了(1名) ・就職活動	復職(1名) ・長町病院12/1 利用中止(1名) ・静養	一般就労(1名) ・仙台長生園1/4 復職(1名) ・㈱スリーエイト1/21			
新規利用者数 →紹介元 (13名)	1名 ・長町病院		1名 ・相談支援事業所と も	1名 ・南東北病院				1名 ・直接	1名 ・長町病院	4名 ・東北大病院 ・エルポート仙台 ・能力開発校委託訓 練 ・就労サポートセン ターあがいん		3名 ・東北大病院 ・宮城障害者職業セ ンター ・若林障害者福祉セ ンター(自立訓練) * 1名: 就労アセス メント利用
利用数 出席率(平均)	20名→21名 77.6%(15.8名)	22名→21名 76.2%(16.4名)	21名→22名 76.6%(16.8名)	22名 80.7%(17.5名)	21名→19名 76.9%(15.7名)	17名→16名 77.3%(16.7名)	15名→14名 80.9%(12.1名)	14名 85.2%(12.4名)	13名→14名 85.6%(11.8名)	15名→16名 76.7%(11.6名)	16名→17名 79.9%(13.4名)	17名→21名 79.0%(14.9名)
体験利用者数 (うち正式利用者)	1名 (0)	2名 (1名)	1名 (1名)	1名 (1名)	0	0	1名 (1名)	0	4名 (3名)	2名 (2名)	2名 (2名)	2名 (2名)
合同面接会	27日(エル)					28日(国際センター)					13~21日 (ハローワーク仙台)	
模擬面接					外部:面接会対策講座	コミュニケーションⅡ				外部:面接会対策講座		
セミナー・講習会				・雇用促進セミナー:3名					宮城野区実務者ネット ワーク:1名			
企業講話・説明会		アマゾンジャパン:2名	NTTクラリティ(株):1名		(株)藤崎:3名	アデコ(株):6名				NTTクラリティ(株):1名		
企業訪問		・清月記:5名 ・オフィスベンダー文 具の社:4名	・クリーン&クリー ン:4名	・ほっとファーム(A型):4名								
個別企業訪問		(株)東日本技術研究 所	・第一貨物(株) ・仙台オーブン病院	・東北第一興商(株) ・(株)ボラリス(A型)			仙台長生園		宮城日産自動車(株)			島村楽器 名取エアリ店
職場実習先 →経過			仙台市役所→復職	・仙台オーブン病院→採用 ・第一貨物㈱→採用 ・㈱東北第一興商→採用	・㈱藤崎→応募せず ・ほっとファーム(A型) →応募せず			仙台長生園→採用			宮城日産自動車株 →採用	
体験実習先 (体験者数)						ユニクロ仙台エル店 (1名)	仙台市水道局(4名)			仙台市教育局(2 名)		
法人内実習	ひすた~り							ひすた~り	ひすた~り	フードマーケット		
ハローワーク活動	随時必要時に活動											
先輩会			19日(36名参加) 全先輩対象		25日(22名参加) 就労者対象				1日(29名参加) 就労者対象			21日(27名参加) 就労者対象
プログラム												
(毎日実施)	グループミーティング(始めのミーティング・終わりのミーティング)、セルフトレーニング											
(週1回実施)	Bトレ、就職に向けて、メモリーノート、文章理解、文章表現、仕事について、高次脳を知ろう、脳と身体のエクササイズ、スポーツコミュニケーション(ペタンク・段ボールバスケ、ペットボトルボーリング、卓球他)、ストレッチ											
(月1~2回実施)	グループワーク、作業と身体(2月より開始)											
(月1回実施)	コミュニケーションⅡ、鍵プロ、姫プロ、リズム体操、フロアホッケー(純基、沖縄空手含む)											
行事	18日(八木山動物公園)				2日(仙台市科学館)				2日(八木山動物公園)			
(隨時実施)	健康増進センター ・健康増進センター ・避難訓練 ・ITサポートPC講習 ・音楽プログラム ・アロマ体験	・健康増進センター ・ITサポートPC講習	・健康増進センター ・ITサポートPC講習	・音楽鑑賞会 ・ITサポートPC講習		・健康増進センター ・アロマ	・健康増進センター ・ITサポートPC講習 ・音楽プログラム	・栄養管理講座 ・ITサポートPC講習 ・音楽プログラム	・健康増進センター ・もりのみやこのふ れあいコンサート ・ITサポートPC講習	・健康増進センター ・音楽プログラム ・ITサポートPC講習	・音楽プログラム ・ITサポートPC講習	健康増進センター
家族見学・講習会					高次脳機能障害リハ ビリテーション講習会							
見学者 研修生 ボランティア等	・東北医科薬科大学OT ・宮城障害者職業セン ターカウンセラー ・りんごの樹職員 ・北海道遠軽町議会 ・宮城教育大学学生	・ウエルポート仙台高次 脳担当者 ・いすみの杜相談員 ・尚絅大学院学生	・宮城障害者職業センターカ ウンセラー ・くにの里	・福祉事業所見学会 ・東北福祉大学学生 ・尚絅大学院学生 ・宮城教育大学学生	・尚絅大学院学生	・リッキークルーズ支援員 ・アーチル中堅修 ・尚絅大学院学生	・尚絅大学院学生 ・仙台市NPO留学	・若林区障害者福祉セ ンター自立訓練職員 ・仙台市NPO留学		・仙台リハビリテーショ ン病院 ・ゆめの樹職員	・東北福祉大学学生	
その他					宮城障害者職業能力開発校委託訓練(9月19日~12月19日)							

## 資料3

### 平成 30 年度就労定着支援センターほっぷの実 事業報告

#### (状況)

「就労定着支援事業」は平成 30 年度から始まった新しい事業なので運営方法についても行政に確認しながら進めている。また仙台市内にある就労定着支援事業所とも情報交換を行いながら支援をしている。支援対象者については既に就労している方、今後就労の予定がある方など支援の優先度を整理し決めている。

#### 1 件数について

主に「就労支援センターほっぷ」からの就労者をメインに支援しているので支援対象者の決定やその後の経過について情報共有を密に行なっている。

またこの事業は毎月の面談とモニタリング報告が必要になることから一月に対応する件数を 10 件～15 件程度に設定していく。平成 31 年 3 月末現在で 6 名対応している。うち 1 名は転職のため支援終了、1 名は体調の悪化により離職し支援を終了している。（地域の相談支援、行政とも連携し状況を確認している）また 1 年毎の更新をしながら継続支援することになるので継続の必要性も毎月の支援のなかで本人や企業担当者と確認していく。

#### 2 他機関との連携について

支援対象者の中には共同生活援助（グループホーム）などの福祉サービスを利用しながら就労している方もいるので、相談支援事業所や共同生活援助事業所などとの情報共有も行いながら支援している。また可能な限り就労先の担当者とも連絡を取りながら進めている。

#### 3 会議、研修について

行政主催の就労定着支援向けの研修会等はまだないが仙台市障害者就労支援センターの連絡会議の中にある「就労定着ワーキンググループ」での情報交換を有効活用している。

就労定着支援センターほっぷの実  
管理者 平山 昭江

## 資料4-1

### 平成30年度 長町遊楽庵びすた～り事業報告

就労継続支援 A型事業所として、びすた～りを立ち上げてから10年が経過し、県内外の福祉関係者にはA型事業所のモデルとして認知されるようになり、今でも多くの方が見学で来店されている。また、長町近隣の住民の方には、ゆっくりとくつろげるレストランとして、音楽関係者には演奏が出来、料理の提供のあるレストランとして広く認められて来たことは、びすた～り関係者、支援して下さる全ての方々に感謝したい。

福祉事業所としては、一般就労し卒業したスタッフが1名、新規利用のスタッフが3名と久々に10名を超える利用となった。なかなか継続利用が難しかった精神の方や、初の難病の方の受け入れ等、様々な特性への対応が必要となって来ている。また、オープン以来長年安定して働いていたスタッフの中にも、精神的不安定により体調を崩したり、持病の治療の為入院する方が出たりと、継続して働き続けることの難しさを改めて感じる1年となった。その反面実力を付け、洗い物だけではなく、実際にお客様に提供する料理を作る事の出来るスタッフや、盛付けなどを任せられるスタッフも育ってきており、今まで以上にスタッフ達の成長を感じる1年でもあった。今後も個々の目標に向けて頑張ることの出来る環境作り、きめ細やかな支援を心掛けて行きたい。

レストラン事業の運営的にはコンサートや発表会など、音楽関係の貸切営業は安定した売上を上げている一方で、貸切営業が多くいつ行っても入れないという一般のお客様の声が聴こえたり、売上の伸び悩み、食材の価格高騰などによる経費の拡大や営業収益のマイナス、働き方改革への対応、パートナーの人材確保の難しさなど、次年度以降に課題が残る1年となった。

様々な課題を考慮し、基本コンセプトも含めた運営方針や体制の見直しを図り、より安定した経営が出来るよう努力していきたい。

びすた～り 管理者 浅利克洋

## 1. 収入

①平成 30 年度店舗売上 32,206,810 円 (添付 1 参照)

平成 29 年度店舗売上 31,538,830 円

②平成 30 年度給付費収入 17,095,524 円

平成 29 年度給付費収入 16,717,894 円

## 2. 利用契約者数

平成 31 年 3 月 利用者人数 11 名

## 3. 料理、食材、メニュー

今年度ランチタイムの売上目標を年間 140 万円としていたが、実際は年間 125 万円 (1 日平均 36,600 円) と目標までは届かなかった。1 月から定休日を設けた為、当初の予定より稼働日数が 10 日程減少した影響もあるが、ランチの 1 日の売上平均が昨年度よりプラス 1,000 円と微増にとどまっていることからも、まだまだ改善の余地はある。

フードマーケットの野菜を中心に春は筍、夏はアイコトマト、秋から冬はセリを取り入れている。その他キノコや柚子をはじめとした季節野菜を多く盛り込んだ料理はお客様からも好評をいただいている。しかし、収益面を考えると、この 10 年間売価を変えないまま料理を提供して来たこともあり、売上が思うように伸びず、食材高騰も続いていたりと、原価率が予定より高くなっている点については、反省しなければならない。

長町周辺はあすと長町を中心に高層マンションの建設が進み、今後は新規顧客の獲得も見込める為、これまでの中高年女性向けのメニューの考案に加え、家族向けのメニュー開発の必要性を感じる。

調理スタッフの作業内容については、昨年から調理経験者や高校の調理科を卒業したスタッフに迎え入れ、昨年までの洗い場中心の作業からステップアップ

し、食材の下ごしらえや調理中心の作業が出来るようになって来ている。トマトソースや定番料理の仕込みを任せられるようになり、1月からはランチパスタの調理が出来るスタッフも育ってきている。初めてスタッフの作る料理を提供出来るようになったことは、今年度の大きな進歩であり、他のスタッフ達にとっても良い刺激となっている。

#### 4. 貸切利用

平成30年度貸切 142件 (添付2参照)

(ランチタイム37件 ティータイム41件 ディナータイム64件)

#### 5. コンサート

主催コンサート22件実施(平成29年度27件) 添付2参照

#### 6. ほっぷの森事業所間での連携

##### ①びすた～りフードマーケット

毎年冬の時期に販売してきたセリ鍋のセットは、セリの確保が安定せず、今年度は年が明けてから予約分のみの販売となった。セリ鍋に使っていた鶏団子の製造はスタッフの作業とし、フードマーケットの販売自体は少なかったが、びすた～りでの冬季宴会のメニュー、セリと鶏つくねのスープとしてお客様に提供する事が出来た。

5月の連休前からフードマーケットで収穫が始まる筈は、びすた～りであく抜きと筍ご飯の素の製造を担当した。水煮については路面での無人販売もし、びすた～りだけで200袋以上を販売。10万円を超す売上をフードマーケットに計上した。

びすた～りの売上ではないが、あく抜き作業をスタッフに教えることがスキルアップにもつながり、また、筍を料理にふんだんに使用させていただくことで、び

すた～りの春料理の演出にもつながっていることに感謝したい。

＜びすた～り店頭での野菜の無人販売＞

平成 30 年度 386,570 円

平成 29 年度 353,259 円

平成 28 年度 517,905 円

平成 27 年度 681,960 円

平成 26 年度 571,256 円

## ②就労支援センターほっぺ

ほっぺ研修としてプログラムに参加。一般就労を目指しているスタッフの知識や情報を得る研修として、また一般就労を考えないスタッフにとっても、コミュニケーションの向上や体力づくり等に役立っている。プログラムへの参加はスタッフ達の楽しみにもなっており、今後も継続して参加して行きたい。

＜参加している主なプログラム＞

就職に向けて

文章表現

文章理解

高次脳を知ろう

コミュニケーションⅡ

B トレ

リズム体操

姫プログラム

音楽プログラム

### ③TFU Cafeteria Olive

1月のオープンに伴い、パートナーをしばらくの間ヘルプに出している。

また、Olive の貸切営業での前菜提供も行い、2月の300人規模の会食では、

びすたへりの店舗を閉めて、パートナー、スタッフ全員でケータリング料理の

製

造と盛り付けをし、30万程の売上を計上した。

### 7. 一般就労への取り組み

1名が一般就労 ゼビオ㈱スーパースポーツゼビオ名取

### 8. 研修への参加（パートナー）

障害者やその家族を支援する上での「困り事フリートーク～みんなで考えよう～」

発達障害のある人への就労支援～一人一人の暮らしや特性を知る事から始まる～

サービス管理責任者研修

### 9. 個別面談

水梨理事に依頼 月1回 2名

### 10. 家族面談

TFU Cafeteria Olive オープンに伴い、平成31年4月実施

### 11. 健康診断

1月 実施

12. 講師

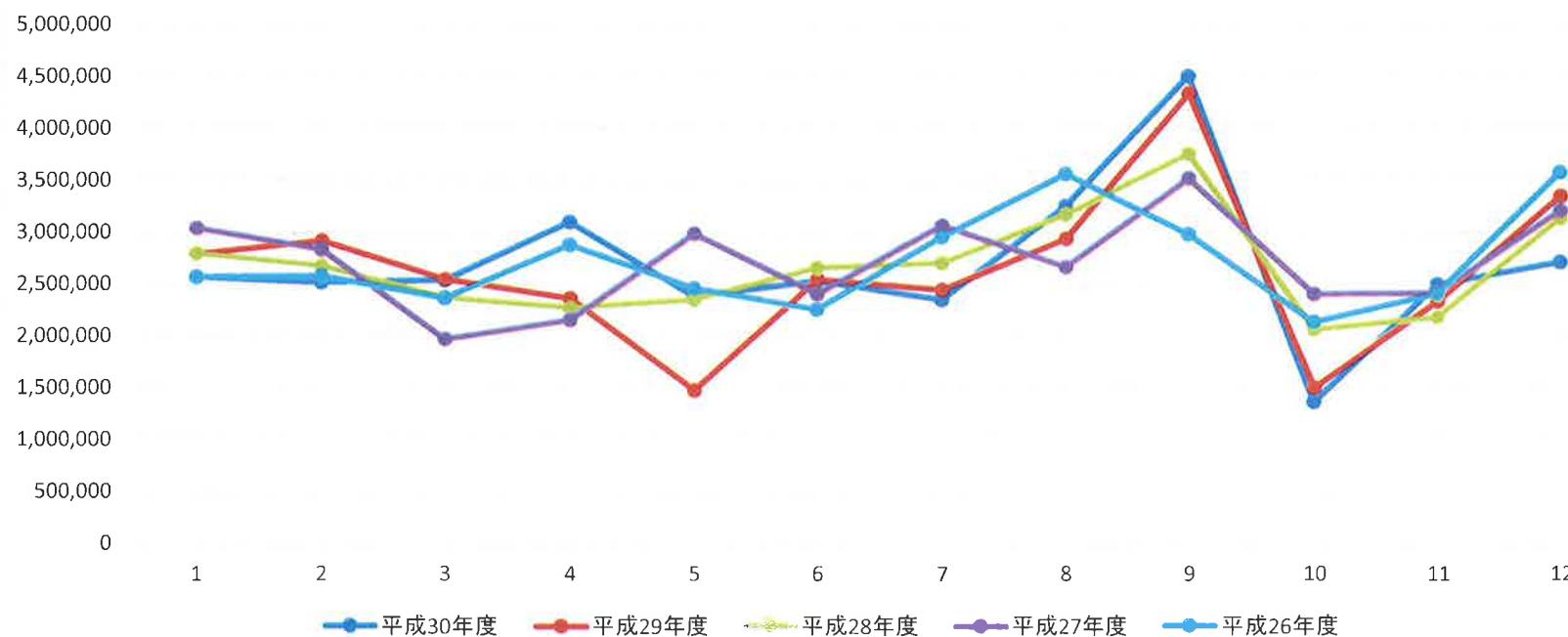
宮城学院女子大学現代ビジネス学科 10月 18日（木）（菊田）

## 平成30年度びすた～り売上 (添付1)

資料4-2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成30年度	2,555,360	2,509,168	2,531,664	3,090,274	2,372,924	2,523,678	2,342,656	3,245,076	4,498,560	1,353,786	2,485,096	2,698,568	32,206,810	2,683,901
平成29年度	2,789,262	2,918,440	2,546,450	2,364,830	1,476,466	2,546,577	2,445,132	2,938,870	4,338,830	1,498,916	2,330,960	3,344,097	31,538,830	2,628,236
平成28年度	2,789,262	2,674,050	2,364,567	2,270,070	2,345,405	2,655,175	2,702,121	3,167,120	3,753,602	2,057,010	2,171,862	3,124,412	32,074,656	2,672,888
平成27年度	3,034,220	2,831,287	1,966,440	2,151,222	2,985,650	2,404,070	3,065,515	2,665,590	3,518,540	2,400,545	2,406,060	3,200,000	32,629,139	2,719,095
平成26年度	2,558,445	2,570,258	2,353,970	2,870,337	2,451,237	2,250,515	2,946,992	3,555,752	2,974,855	2,123,860	2,394,643	3,562,852	32,613,716	2,717,810

## 平成30年度月売上



## 資料4-3

### 平成30年度 貸切営業 イベント（添付2）

年間貸切件数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	135	152	128	146	140	142

#### 時間別貸切件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ランチタイム (11:00～15:00)	31(23%)	29(19%)	26(20%)	37(25%)	37(26%)	37(26%)
ティータイム (15:00～17:00)	37(27%)	49(32%)	51(40%)	38(26%)	35(25%)	41(29%)
ディナータイム (17:30～21:30)	67(50%)	74(49%)	51(40%)	71(49%)	68(49%)	64(45%)
合 計	135	152	128	146	140	142

#### 貸切内容別件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
音楽での貸切	96	98	96	94	103	101
その他 パーティー	39	54	32	52	37	41
合 計	135	152	128	146	140	142

#### びすた～り主催イベント件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コンサート	13	13	11	14	27	22

出 演 者	活動拠点	開催日	ジャンル 楽器
山口千壽	仙台	4月15日(日)	篠笛
金澤英明 栗林すみれ	仙台	5月22日(火)	ジャズ (コントラバス ピアノ)
ケイコ・リー 野力奏一	東京	6月 2日(土)	ジャズ (歌 ピアノ)
瀬木貴将	東京	6月 9日(土)	サンポーニャ ケーナ
幹miki 山本純	仙台	6月16日(土)	ポップス (歌、ピアノ チェロ)
石井彰 須藤崇志 杉本智和	東京	6月20日(水)	ジャズ (ピアノ コントラバス ドラム)
レ・クロッシュ	フランス	6月30日(土)	クラシック (チェロ ピアノ)
笙YUU	仙台	7月 7日(土)	笙
びすた～り10周年		7月 8日(日)	
李政美 竹田裕美子	東京	7月15日(日)	フォークソング フォルクローレ (歌 ピアノ)
DELTA 堀田峰明	仙台 東京	7月22日(日)	ピアノ コントラバス ケーナ、サンポーニャ オカリナ
花*花	東京	9月 1日(土)	ポップス (歌 ピアノ)
渡辺香津美 谷川公子	東京	11月 6日(火)	ギター ピアノ
Don 櫻井不二麿 金崎裕行 高橋良一	仙台	1月24・25日(土・日)	ジャズ(歌 コントラバス ピアノ テナーサックス)
及川久美子	仙台	12月 1日(日)	歌、ピアノ
南佳孝	東京	12月 1日(日)	ポップス (歌、ピアノ、ギター)
HAPPY TOCO	仙台	12月 2日(日)	ジャズ(ピアノ ヴァイオリン ドラム)
幹miki 岡本優子 Tacchy	仙台	12月 2日(日)	ポップス (歌、ピアノ ギター)
松尾一彦 竹田元	東京	12月 8日(土)	ポップス(歌、ギター、ハーモニカ ピアノ)
後藤優子 菅野静香	仙台	12月15日(土)	メゾソプラノ ピアノ、シンセサイザー
山田祥子 斎藤めぐむ Miiji	仙台	12月22日(土)	ポップス (歌 ピアノ パーカッション)
渡辺公章 西原なつき 小林萌里	仙台 アルゼンチン	1月19日(土)	タンゴ(バンドネオン ピアノ)

## 資料4-4

### 平成30年度 全体グループミーティング実施内容（添付3）

平成30年

#### 4月 「今年度のスタッフ行事について」

広瀬川でお花見をしながら、今年度行いたい行事のアイディアを一人ずつ発表した。

#### 5月 「びすた～りの歴史・仕事の心得 / スタッフ行事年間計画」

菊田Pより10周年を迎えるびすた～りがどのような思いで立ち上げられたか、また当時のオープンまでの活動をプロジェクターで映像を見ながら、説明を受けた。今後どんな思いでレストランの仕事に携わればよいのか、一人一人考える機会となった。また、決定したスタッフ行事をいつ行うか話し合い、年間計画を立てた。

#### 6月 「行事 地底の森ミュージアム見学についての話し合い」

##### 「いいところ探し」

見学するにあたり下調べを行い、係決めを行った。

久々に全員で、お互いのいいところを探す「いいところ探し」を行った。

#### 7月 「行事 地底の森ミュージアム見学」

近距離のお出掛けとなつたが、久々に全員で施設見学を行つた。

学芸員の方の説明を聞き、自分たちの住む近くで、祖先達が大昔にどんな生活をしていたのかを知つた。また、フロアに置かれていた、たくさんのチラシを眺め、仙台の歴史や文化を知る事が出来る公共施設がたくさんある事を改めて知る機会となつた。

#### 8月 なし（お盆休みの為）

#### 9月 「行事 サンドイッチ作りについて / 自己紹介」

新しいスタッフも増え、改めて調理実習の目的・ルール・進め方等を確認した。9月に新しいスタッフが入り、くじ引き形式の自己紹介ゲームを行つた。

- 10月 「行事 サンドイッチ作りの話し合い」  
各グループに分かれ、どんなサンドイッチにするか、係分担等の話し合いを行った。
- 11月 「スタッフ行事 サンドイッチ作り」  
太白区中央市民センター調理実習室にて、3グループに分かれサンドイッチ作りを行った。サンドイッチ作りは以前にも実施したことがあるが、今回は前回上手く行かなかった点へのリベンジ行事となった。  
各グループ前回よりもパワーUPしたサンドイッチが出来上がった。

12月 なし（年末営業の為）

平成31年

- 1月 なし（シフトの都合により）
- 2月 「今年の目標の発表」  
昨年の目標の振り返りと、今年の目標をお互いに発表し合った。
- 3月 「防災について／自己紹介ビンゴゲーム」  
火災・洪水・地震時にどのような行動をとればよいのか全員で考え、マニュアルを確認、消火器の位置なども確認した。  
東日本大震災時のびすた～りの被害について、また建物の構造についての説明を受け、どこへ避難すれば安全かを確認した。  
3月に新スタッフが入り、改めて自己紹介ゲームを行った。自分の趣味や好み等をゲームで楽しく相手に伝えながら、相互理解を深めた。

# 資料5-1

## 平成 30 年度 TFU Cafeteria Olive 事業報告

2019 年 1 月 25 日オープンより沢山のお客様にご来場いただいている。

オープンにあたっては様々な方からサポートをいただき心より感謝申し上げたい。

グランドオープンセレモニー、学会後の懇親会パーティー、お弁当や 300 名のケータリング、卒業謝恩会など、大学からのリクエストに応え、回を重ねることで大学との信頼を築きお客様にも喜んでいただいている。

日により館内のお客様の利用状況が大きく異なり、通信スクーリング、看護学校スクーリング、ギャラリーイベント状況、美術工芸館（芹沢圭介）、会議室の貸出状況等により、スタッフ、パートナーの行為体制の調整や仕込みの調整を行っている。通信、看護のスクーリングは休憩時間が短く（40 分）レストランが一気に混んでしまう為、事前予約でお弁当注文を受けるなど今後対策を考えていきたい。

オリーブパンフレットを作成し国見のキャンパスに設置、大学内会議でも積極的に案内していただいている。大学職員、先生方に少しずつ周知されてきている。現在、より詳細のパンフレットを作成、学会後の打上げやケータリング、学生料金などを盛り込み大学内の利用促進を更に図っていきたい。音響機材、プロジェクターを使用したパーティーも実施しており、質の高い環境（音響やベーゼンドルファー）とアクセスの良さで予約が増えている。夜の貸切予約を増やしていきたい。

現在スタッフは調理場 2 名、ホール 1 名大きな戦力として日々仕事に励んでいる。

利用者本人、ご家族、学校、各支援機関からの問い合わせや見学も多く、体験なども実施している。夏までに更にスタッフ 3 名雇用していきたい。

パートナー採用にあたっては、募集をしても応募が少なく、パートナー、スタッフ共に少ない人数で力を合わせ取り組んでいる。今後は更に忙しくなることから、職員、パートナーを雇用し安定した運営をしていきたい。

TFU Cafeteria Olive サービス管理責任者  
菊田 俊彦

## カフェテリアオリーブ 利用者数・売上状況

月	日	曜	東口キャンバス館内事業・催事				ランチ+ティータイム(L&T)			貸切営業				
			ギャラリー ミニモリ	美術工芸館	通信教育部 スクーリング	藝術学校 スクーリング	内外連携	客数	売上	計	イベント名	客数	計	
								一般	学割	計	元上	計		
1月	25	金					グランドオープン祭典	98	91	189	101,100	東ログランドオープン祝典(店内)	40	232,660
	26	土					グランドオープン祭典	107	28	135	84,900		0	0
	27	日						0	0	0	50,950		0	0
	28	月						0	0	0	0		0	0
	29	火						0	0	0	27,800		0	0
	30	水						0	0	0	45,750	河北・TFU交流会(店内)	40	160,000
	31	木						0	0	0	87,950	懇親・米活用研究会(店内)	31	96,000
2月	1	金						39	5	44	33,449		0	0
	2	土						42	4	46	33,450		0	0
	3	日						15	9	24	16,233		0	0
	4	月						0	0	0	0		0	0
	5	火					明治大学入試井戸	47	11	58	82,659		0	0
	6	水						19	13	32	23,595		0	0
	7	木						35	9	44	31,653		0	0
	8	金						21	6	27	26,983		0	0
	9	土						56	13	69	57,682		0	0
	10	日						30	23	53	39,028		0	0
	11	月						34	9	43	29,820		0	0
	12	火						0	0	0	0		0	0
	13	水						19	9	28	19,250		0	0
	14	木						37	8	45	34,950		0	0
	15	金						16	13	29	21,420		0	0
	16	土						26	27	53	36,050		0	0
	17	日						29	20	49	65,650		0	0
	18	月						43	39	82	31,100		0	0
	19	火						0	0	0	0		0	0
	20	水						29	4	33	26,300		0	0
	21	木						32	9	41	35,850		0	0
	22	金						48	12	60	47,100		0	0
	23	土						37	17	54	53,400		0	0
	24	日						26	18	44	30,462		0	0
	25	月						26	12	38	25,870		0	0
	26	火						0	0	0	0	キヤラリ感謝会(ケーリング)	300	1,041,552
	27	水						0	0	0	0	△ソラシティタイム	832,409	1,039
	28	木						29	14	43	30,457	△月度計	36,192	45
	29	金						15	12	27	18,789	△月度平均	1,041,552	
3月	1	土						63	5	68	56,923	日本保育園成育学会(店内)	60	299,700
	2	日						43	11	54	33,415		0	0
	3	月						34	12	46	33,158		0	0
	4	火						0	0	0	0		0	0
	5	水						27	8	35	27,443		0	0
	6	木						12	16	28	17,941		0	0
	7	金						17	2	19	15,071	ゆらりズム(店内)	16	69,100
	8	土						50	28	78	49,975		0	0
	9	日						43	30	73	50,024		0	0
	10	月						10	11	21	14,000		0	0
	11	火						0	0	0	0		0	0
	12	水						27	10	37	31,750		0	0
	13	木						22	6	28	22,800		0	0
	14	金						25	7	32	18,450		0	0
	15	土						38	14	52	41,950		0	0
	16	日						50	14	84	52,070		0	0
	17	月						14	7	21	15,100		0	0
	18	火						0	0	0	0		0	0
	19	水						13	9	22	13,050		0	0
	20	木						35	7	42	30,200		0	0
	21	金						15	7	22	14,775		0	0
	22	土						25	12	37	26,700		0	0
	23	日						31	2	33	21,650		0	0
	24	月						0	0	0	0	△ソラシティタイム	791,558	1,077
	25	火						0	0	0	0	△月度計	29,317	40
	26	水						0	0	0	0	△月度平均	567,520	
4月	1	金						20	8	28	13,550		0	0
	2	土						33	12	45	34,801		0	0
	3	日						108	8	114	113,882		0	0
	4	木						67	12	79	81,050		0	0
	5	金						20	4	24	17,421	忍冬会・七十七開係(店内)	44	218,750
	6	土						43	18	61	40,450		0	0
	7	日						0	0	0	0		0	0
	8	月						29	8	37	22,750		0	0
	9	火						21	10	31	27,150		0	0
	10	水						14	10	24	16,600		0	0
	11	木						46	10	56	48,100		0	0
	12	金						62	11	73	58,250		0	0
	13	土						67	15	82	62,350		0	0
	14	日						0	0	0	0		0	0
	15	月						39	15	54	32,900		0	0
	16	火						28	13	39	28,900		0	0
	17	水						26	9	35	35,250		0	0
	18	木						23	9	32	18,828		0	0
	19	金						68	36	104	107,141		0	0
	20	土						26	19	45	31,604		0	0
	21	日						0	0	0	0		0	0
	22	月						35	10	45	31,502		0	0
	23	火						39	6	45	32,200		0	0
	24	水						85	11	96	72,950		0	0
	25	木	河北屋	河北屋				68	9	77	62,500		0	0
	26	金	1	4	●			71	5	76	50,950		0	0
	27	土	1	1	●			78	19	97	70,850		0	0
	28	日						0	0	0	0	△ソラシティタイム	1,185,956	1,500
	29	月						94	7	101	67,127		0	0
	30	火						0	0	0	0	△月度計	47,438	60

貸切 計	218,750
△月ソラシティタイム	3,208,373
黒計	3,940
黒計(うち平日)	1,781,980
黒計(うち土日祝)	2,257
黒計(うち土日祝)	1,426,393
△月度計	1,683
△月度平均	39,127
△月度平均	48
△月度平均(うち平日)	34,941
△月度平均(うち土日祝)	44
△月度平均(うち土日祝)	46,013
△月度平均(うち土日祝)	54
△月度平均(うち土日祝)	132%
△月度平均(うち土日祝)	123%

## 平成30年度 びすた～りフードマーケット事業報告

### 1. スタッフの利用状況と現状

平成30年度は、継続利用のスタッフ24名のスタートとなり。途中、退所者1名、途中入所者4名で3月末現在在籍数27名となった。(下記表参照)

在籍スタッフの内訳として、週3日出勤者が4名、週4日出勤者1名、月に2～3日出勤者が1名となっている。年明けより60代スタッフが体調を崩しそのまま欠勤状態となっている方が1名。月平均出席数は21.7人となっている。

途中利用希望のスタッフについては、フルで働くことが難しい方が多く、御本人と日数、時間について相談しながら、長い期間をかけながら、少しづつ時間を増やしたり日数の調整をした。

高齢(50代～60代)のスタッフについては、医療、区役所等との連携が必要な方があり、相談事業所など連携をしながら通所の継続の仕方を模索した。

療育手帳をお持ちのスタッフも、年齢を重ねる中、精神面の変化も見られ、ご家族との関わりや今後の生活など課題も出てきており、他機関と連携しながら、生活面での支援を継続的に行う。

それぞれ、利用スタッフの継続年数が増えるなか、次なる目標を持っているスタッフも出てきているため、引き続き次年度に向けても個々の目標を大事にしながら、どのように過ごしていく事がベストなのか、考えながら過ごしていく。

【H30年度スタッフ在籍数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間 月平 均出 席人 数↓
入所	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
退所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
在籍 合計	24	26	25	25	26	26	26	26	26	26	27	27	
月平均 出席数	21.1	21.8	22	22	20.8	22.9	22.4	21.2	21.8	21.2	22.1	21.9	
退所 内訳			一身上 の都合										

【H30年度3月末現在年齢別在籍数】

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	8	2	2	4	2	18
女性	0	7	0	1	0	1	9
合計	0	15	2	3	4	3	27

※新卒スタッフがいないため10代の在籍が0。

手帳の種別

手帳種別	人數
療育手帳（A.、B）	20
精神保健手帳（精神疾患、高次脳機能障害）	7名（精3、高4）

2. 畑作業について

※スタッフの高齢化等に伴い、畑への参加スタッフの数が減少も畑対応可能なSの加入により改善した。機械の使用頻度も高くなり、安全管理に気を付けて作業を行った。

※施設外就労・・・MITU（毎週木）の1日（11時～15時）実施。

① 栽培（H30年度野菜販売収益・作付け表は別紙参照）

お客様から需要がある定番野菜の収穫数は比較的安定した。

栽培管理の簡略化の為、品種の限定を継続した。

JhoJhoからの要望の多いレタスなどの収穫できた。（今後通念栽培が課題）

柳生大家、守屋さんに柿・梅・柚子・三つ葉。竹林國分さんに筍等収穫させて頂く。

春夏

トマト苗は、富沢ハウス内畑にて定植。柳生での作業量の増加・支援員1名減に伴い、トマトの管理が出来なくなり少量のみの収穫。

作業効率を考え来年度に向けて、小ハウス撤去し柳生へ移動（冬期）した。（柳生大家了解済み。）ハウス畑は返却予定であったが、大家板橋さんから使用して欲しいとの依頼有り手のかからないものを考えていく。

玉ねぎ・じゃが芋の収穫量は安定。収穫数が多いと保存方法・場所の問題多数有った

が、29年度より、調理用のジャガイモを購入する頻度が少なくて済んだ。

### 秋冬

大根・ヤーコンなど生産量が多い野菜に関しては、品種の選定や作付面積の見直しするも、大根の植え付けまで手が回らず、種子購入するも播種時期を逃し、種蒔きが出来なかつた。

間引きが間に合わず、小さなもの収穫が多かつたが、MITUさんとの検討の結果、馬糞肥料を入れる事で蕪などは持ち直すことが出来た。

水菜・ちぢみ菜・山東菜なども冬季の収穫は平年並み。蕪は通年通し豊作。

※土壤のアルカリ濃度が高く、MITUさんへ相談した馬糞肥料は育ちの効果が多々見られた為、今後も継続していく。

保存方法については全体的に難しく畑に埋めると鼠等に食べられ、柳生の倉庫に閉まつても同様。出来るだけ早めに調理などで使って貰えるように調理・バックヤードとの連携が必要。

#### ② 安定した野菜の収穫

今季は、豊作の野菜・不作の野菜の差が激しかつた。安定した収穫・保管、継続した使用が目標。

#### ③ 冬期間、ハウス活用について

前述しているも、ハウス解体・移動を行つてゐる。小ハウスは柳生へ移動。

大ハウスはパイプ等の移送手段が無く解体途中。大ハウスに関しては、再構築検討している。

今季も竹林の整備を行うも、ハウス移動などもあり精力的には行うことが出来なかつた。又、焼却・暖を取る方法としてドラム缶ヒーターにて対応。消防対策を行つた。

#### ●びすた～りファーム売り上げ（野菜、筍、筍ご飯の素）

	野菜 (店舗、びすた～り店頭、JhoJho)	たけのこ	筍ご飯の素
H29年度	¥469,584	¥65,290	
H30年度	¥446,765	¥235,580	¥21,200

### 3. 店舗

定期的な外販（ベネッセ）や引き売りは安定しているが、集客と収入は低位安定、お客様の野菜に対するこだわりも強くは見られない。開店当初よりびすた～リファームと同じコンセプトで定期的に戸叶農園（色麻）、菜の花村（登米）、やさい村（角田）を始め、不定期で赤路農園（田尻）小林農園（市内）三浦農園（名取）より農薬不使用野菜を納品して頂いており「安全でおいしい野菜」を求めて固定客もいる。また今年度もきゅうり、なす等季節野菜限定の農家さんより納品の協力も頂いた。

#### 【コンセプト】

びすた～リファームで収穫した農薬化学肥料不使用のおいしい野菜を提供、販売。

##### 1 びすた～リファームでの収穫状況の確認

収穫した野菜を調理用と販売用に選別、バックヤード調理場と連携し B 品は調理で使用した。また天候にも左右されるため畠や農家さんと連携しお客様のご要望に応えられるよう努力した。今年度は戸叶農園さんが一時的に体調不良のため入荷がなく、お客様にもご迷惑をおかけしたが、お店が農家さんに支えられている事を改めて認識した年でもあった。

##### 2 2人体制の継続

店担当 2 名が協力して作業ができるようにしながら、仕事の継続が難しい時は無理をせず状況を見ながらまた仕事に戻れるよう配慮した。（2 階で休む等）

菜の花村入荷の際、配送の方のご協力を頂き S だけで検品、店舗への運搬も S が積極的に行ない仕事の意識が向上している。近隣のお店への買い物を通して、接客、挨拶、お金のやり取り等学びの場になった。

##### 3 野菜の保存

ファームで収穫した野菜は、取り立てを、選別し鮮度のよいものを販売した。

筍は表年にあたり収穫多く、びすた～リの協力を得ながら水煮や筍ご飯の素を作つてもらい売れ行き好調、収穫に応じて今後も継続していく。

昨年と比べ全体的に野菜の出来が良かった、保存方法に配慮した結果商品を均一に販売する事ができた。

##### 4.びすた～リでの店頭無人販売。

天候やその他の理由で野菜の入荷が少ない事もあり S が不定期に配達をした。

筈・・・FM 定休日にはびすたへりで販売、売り上げに貢献して頂いた。

#### 5 引き売り（毎週 2 回）とベネッセ出張販売（月 1 回）の継続。

あいさつ、計算、体力向上等スタッフのスキルアップを図る。

事前の体調チェック及び衛生面の意識づけ、約束事の確認。訪問先での言動に注意し各自が分担した役割を最後まで行なえるよう支援。出来るだけお客様の要望に沿った商品を持参し購買意欲を高めるよう準備した。また新商品「焼き芋（冷凍）」が毎回好評で売り上げに繋がった。

#### 6. セリ関係（セリ De 鍋セット、いな穂さん納品）

セリ仕入が不安定なため、対応できず。セットに関しては 1 件の申し込みのみの対応。開店以来ずっと納品してきた、いな穂さんへも希望数の納品が難しく、店頭での販売の確保はほぼできなかった。（セリ販売金額 1 キロ 2000 円、1 月、2 月・・・2500 円）

セリの仕入れ値の値上げ、送料の値上げもあった。

#### 7 オーサワ商品

月 1 回の発注継続。S が注文書の記入及び商品到着から陳列までの作業を P と一緒に行ない、スキルアップを図った。.

#### 8 放射能検査の実施 → 筈

#### 9 棚卸し

毎月結果を慎重に検討し在庫をチェックしながら仕入・販売に活用した。

表を元に月末（棚卸）にスタッフが行ない P と一緒に確認する。

#### 10. 外販

どんどん市の形態の変化により不参加、TOTO 様やノーリツ様のイベントが無くなり。

アートインクルージョン台風により中止。など外販が無かった。

楽楽楽ホールイベントへの出店 2 回（弁当など販売で確実な売り上げとなつた。）

#### 4. 厨 房

##### 1 JhoJho メニューの調理補助

メニューに必要な野菜の選別、下処理や刻み（機械など使用しながら）。計量、袋詰め、真空などグッズを利用し作業の効率化とスタッフのスキルアップを図った。  
衛生面の意識づけ（今切っている野菜が何のメニューになってお客様の口に入るか？  
食中毒になつたらどうなるか？等画面を見せて説明しまめに手洗いを実施。）

##### 2 異物混入

ビニール袋や虫などの混入を防ぐための取り組みとしてビニールはクリップを使用、  
虫は洗浄を徹底し今後も P と S とで確認していく。

#### 5. バックヤード（2階での作業）

階段の上り下りに関しては危険性も考慮し、重いものはパートナーが、軽いものに関してはスタッフの運動能力に応じて持たない、もしくは買い物かごを利用し、空いている手で手すりを掴みながらゆっくりと昇降するように配慮した。

作業の際の準備、片づけ（椅子の片づけ、机の移動、ビニールシートの準備など）も極力スタッフが自主的に進めるように心がけた。自発的に動くことが難しいスタッフに対しては最低限の声掛け、重いものを持つのが難しいスタッフには机拭きやシートたたみなどスタッフの特徴に合わせた支援を行うようにした。

①収穫、仕入れた野菜・・・選別、計量、袋詰め、値札貼り付け作業など、スタッフを分担して作業を行つた。

選別は大まかな選別から細かい選別まで、スタッフの能力に応じて流れ作業で担当してもらい、最終的にパートナーが最終チェックを行うよう心掛けた。特に豆類は細かく、不純物も混ざっている為、丁寧に何度も選別作業を繰り返した。

計量の重さが分かりづらいスタッフに関しては範囲を指定し、その数字をメモ用紙に記入して同じ数字になるように声掛けした。バックヤードの作業に慣れているスタッフがほとんどの為、計量後に何をするかなど自分で把握しており、袋、値札などを自分で

準備することが出来ていた。その為、パートナーに声がけする際も「何をすればよいか？」という受け身の問いかけから「～をしてもよいか？」や「値札はこれでいいか？」などスタッフから提案するような質問が増えてきた。自分から発信することが増えてきていることを評価しつつ、独断で進めてしまわぬよう、「ほう・れん・そう」が出来るように今後支援していきたい。

調理用の野菜の処理は皮むきが得意なスタッフに最終チェックを任せ、効率よく作業を進めた。

#### ※セリ

選別作業に関しては上手にできるスタッフが増え、昨年度よりも手早く行うことができた。また、根っこが乾燥しないようこまめに霧吹きで水をかけるなど各スタッフが気をつけて作業を行った。

配達は運動不足気味の大宮 S が行い、量が多い際には匠、飛両 S にも協力してもらい無理のないように配達をしてもらった。

②ハンカチ作業・・・今年度はなし。しかし、銀行の粗品のシール貼りを Ai から依頼され、傷、汚れなどがないか丁寧にチェックしながらシールを貼り、二階のスタッフ総出で作業を行った。

③フェルト手芸（野菜や亀のストラップ）刺し子布巾、個々の得意な分野での作業として取り組む

→今年度はその他の作業があつたためほとんど行わなかった。

④新聞袋の作成。収穫物が多い時期などにはまとまった量を作れないため、雨、冬の時期に作りためをしておく。工程の最後まで折ることが難しいスタッフには工程を分け、途中の簡単な折り作業までを担当してもらうようにした。スタッフ毎に得意な工程があるため、それを活かして効率よく作っていくことができた。

#### ⑤その他

・調理場で使用したボウルなどの油落とし

ヘラ、新聞紙を使い大まかな油汚れを落として戻す作業。丁寧に掃除できるスタッフが多く綺麗に仕上げることが出来た。

・作付け用の種まき

畠と協力しながら二階で種まきを行った。手先が器用なスタッフには種を蒔いてもらい、細かい作業が難しいスタッフにはポットへの土入れや水やりをしてもらった。土を使うので他の作業（ハンカチや調理用野菜の処理等清潔面に注意が必要な作業）との兼ね合いに留意しながら今後も行っていく。また、畠やビニールハウスの気温など天候にも気を付けながら種まき時期を見定めていく。

・外冷蔵庫掃除、駐車場草取り

ほぼ毎月、定期的に実施。

## 6. C a f e J h o J h o

病院の職員様、患者様、常連のお客様、近くの会社で働くお客様、はなみずき入所のお客様にご来店いただいている。お客様は少し入れ替わりながらも、新規のお客様にもご利用いただけている。

### ① 利用状況

ご高齢のお客様が多いためオーダーの確認に、より注意が必要なことが多くなった。車椅子のお客様や身体が不自由なお客様の利用も多く、ドアを開けたり、椅子を移動したりなど繁忙時間帯はお席のご用意に時間が掛かってしまうこともあったが、スタッフが対応できることも増えたためお席へのご案内はスムーズになった。

周囲に飲食店が増えたことや、病院様の診療日・時間変更などにより、昨年度に比べると少し落ち着いた集客になってしまった。

全体的に、ゆっくり過ごすお客様よりは急いでいるお客様が多いこと、また患者様の中には甘いものを控えるように言われている方も多く、なかなかデザートのオーダーが入らない状況があり。ティータイム利用のお客様もドリンクのみのお客様が多いことは今年度も変わらなかった。

売店利用については、ランチ後職員さんがお菓子を買って行ったり、はなみずき入居のお客様が飲み物や駄菓子を買っていくことが多かった。

季節により売れるもの、売れにくいものがあるのでお客様に喜んでいただける仕入れ

を考えながら、定番商品と新商品を並べるようにした。冬場から販売を始めた、冷凍焼きいもは、好評だった。

## ② スタッフの状況

今年度に入り、2名スタッフが増員した。

3月末現在、毎日出勤のスタッフが5名（内1名は週1回FM出勤）、週4出勤のスタッフが1名（月2週は、週3出勤）、週3出勤のスタッフが2名、FMスタッフが5名（内1名は週3JhoJho出勤）になった。

月曜日⇒調理場フル 3名

ホールフル 4名（内1名はFM在籍）

.火曜日⇒調理場フル 3名、12:00～15:00 1名

ホールフル 3名、12:30～15:00 1名、FMスタッフ 2名

水曜日⇒調理場フル 3名、FMスタッフ 1名

ホールフル 3名（内1名はFM在籍15時まで）、12:00～15:00 1名

FMスタッフ 1名

木曜日⇒調理場フル 3名、12:00～15:00 1名、FMスタッフ 1名

ホールフル 3名、12:30～15:00 1名、FMスタッフ 1名

金曜日⇒調理場フル 2名、FMスタッフ 1名

（JhoJhoスタッフ FM出勤 1名 ランチタイムはJhoJho）

ホールフル 4名（内1名は月2回、内1名はFM在籍15時まで）

安定して通所出来るスタッフ。目標日数通りに出勤がまだ難しいスタッフ、体調の変化があり休憩をするスタッフがいる中、任せられる仕事はどんどん増え、一人ひとりの力がついて来ている。

パートナーが少ない日でも、JhoJhoに関わるスタッフ総動員で乗り越えられるようになつた。

しかし、なかなか流れについていけず、精神的に心配になって来ているスタッフも

出てきてしまい。週1回FMに行ったり、無理せず休憩を入れるなど様子を見ながら支援している。

他スタッフも、繁忙時間帯以外は自分のペースで休憩の回数・時間を決めて無理のないように過ごしている。

### ③ ホール・パントリー

初期メンバーに加え、部分的に関わるスタッフも仕事にはだいぶ慣れてきた。

パントリーでの洗い物にも専属でスタッフが入るようになった。オーダー読みやドリンク提供にも対応できるスタッフもいるため、スタッフが力を発揮できる場所が増えた。

### ④ 調理場

メニューは変更なく、毎日日替わりの肉、魚セット500円、定番として、カレーライス、う~めん450円、う~めんダブル500円を提供している。

単品でのご注文や、ソースなし、汁を薄めて、酢を付けて、細かく切って…など対応できる範囲でお答えすることが出来た。

準備、盛り付け、計数、片付けなど一日の作業をスタッフが行えるようになったためお任せしているが、最終確認はパートナーが行った。

衛生面に関しては、毎日の資料の読み合わせをしていても難しいスタッフもあり、都度の声掛けを心掛け、全員で気を付けた。

## 7、スタッフ季節の行事

5月・・・新緑を見る会（団子を食べる。）お花見の時期に寒かったため、時期を延ばした。

8月・・・カレーパーティー

11月・・・芋煮

1月・・・餅つき会（振る舞いはせず、スタッフのみで楽しむ）

3月・・・新春会（びすた～りにて）

毎年同じ行事となっているが、数年かけながら、落ち着いて参加したり、流れを理解しスムーズに参加できるようになったスタッフもいる。

## 資料7

### 平成 30 年度相談支援センターほっぷの木事業報告

(状況)

平成 30 年度は 4 月に大きな報酬改定があり相談方法を見直しながら行ってきた。月によって更新やモニタリング件数に波はあるが安定した件数を対応できるようになってきた。この 1 年で新規対応が 5 件あり、相談者（ファイル）数が 76 件（内、サービス終了 13 件）まで増えている。相談者の内訳として就労支援センターほっぷが 3 件（同 2 件）、長町遊楽庵びすた～りが 8 件（同 2 件）、びすた～りードマーケットが 13 件（同 1 件）、アートインクルージョンファクトリーが 18 件（同 1 件）、その他が 34 件（同 7 件）となっている。

同じ相談者でもサービス提供事業所の変更や新たなサービスの追加などを行っているため頻回なモニタリング面談を行い報告書を作成している。

#### 1 件数について

サービス終了の方を除くと 63 件のモニタリング面談と報告、更新に伴う利用計画案の作成を行っていく（15～20 件/月程度）。

計画に関わらない「サービス提供時モニタリング加算」についても各事業所訪問時に対応し請求している。（月上限 39 件）

※給付費に関しては収支表にて報告

#### 2 相談内容について

相談者本人の加齢、介助者である両親の高齢化に伴いサービスの変更や追加が多くなってきている。昨年度は身体的な機能低下などもあり介護保険サービスがメインになった方が 2 名いらっしゃった。地域包括との連携も大きくなっている。現在、就労系サービス（訓練等給付）を利用している方も障害支援区分の申請を行うことで居宅介護など介護給付でのサービスや仙台市移動支援事業の利用も検討していく。また平成 30 年度の報酬改定により相談者ひとりひとりへの「手厚い」支援が求められているので引き続きサービス担当者会議や通院時における主治医との情報共有など積極的に行い、計画作成に活かしている。

#### 3 他機関との連携について

63 件のケースのうち 8 割以上が法人外の方になっているので普段からの情報共有が必要になっている。モニタリング面談以外にも各事業所で開催される個別支援計画面談などには可能な限り参加し、情報共有を図り計画に活かしている。

#### 4 会議、研修について

計画の「質の向上」のため仙台市障害者自立支援協議会や各区自立支援協議会のネット

ワーク会議や研修に積極的に参加していく。特に計画作成の手法や各種サービスの活用法を学び相談者への対応に活かしている。また参加者との交流を積極的に行い「横のつながり」を作り支援につなげている。

#### 参加実績

- 仙台市障害者自立支援協議会（傍聴 5回/年）
- サポネットあおばのつどい（青葉区全体会議 3回/年）
- 青葉区相談支援事業所連絡会（10回/年）
- よめごと会議（泉区実務者ネットワーク会議 12回/年）
- すりいはんず（太白区長町エリアネットワーク会議 10回/年）
- なごやかネット（太白区八木山エリアネットワーク会議 10回/年）
- 青葉区地域包括支援センター連絡会議（6回/年）
- 青葉区計画相談検討グループ（自主勉強会 12回/年）

相談支援センターほっぷの木  
相談支援専門員 針生 里美